

第一生命ホールディングス株式会社

2017年 アナリスト・デー

2017/9/11



Dai-ichi Life
Holdings

本日のスケジュール



Dai-ichi Life
Holdings

時間	テーマ	スピーカー	役職
09:00~09:20	開会のご挨拶	稲垣 精二	第一生命ホールディングス株式会社 代表取締役社長
09:20~09:55	第一生命グループのガバナンス	朱 殷卿	第一生命ホールディングス株式会社 取締役(社外取締役)(監査等委員)
09:55~10:05	<休憩>		
10:10~10:45	TALとオーストラリアの生命保険 市場	ケント グリフィン	TAL CFO
10:45~11:20	プロテクティブ・ライフ・コーポレー ション	リチャード ビーレン	プロテクティブ 社長兼CEO
11:25~12:00	質疑応答	役員一同	



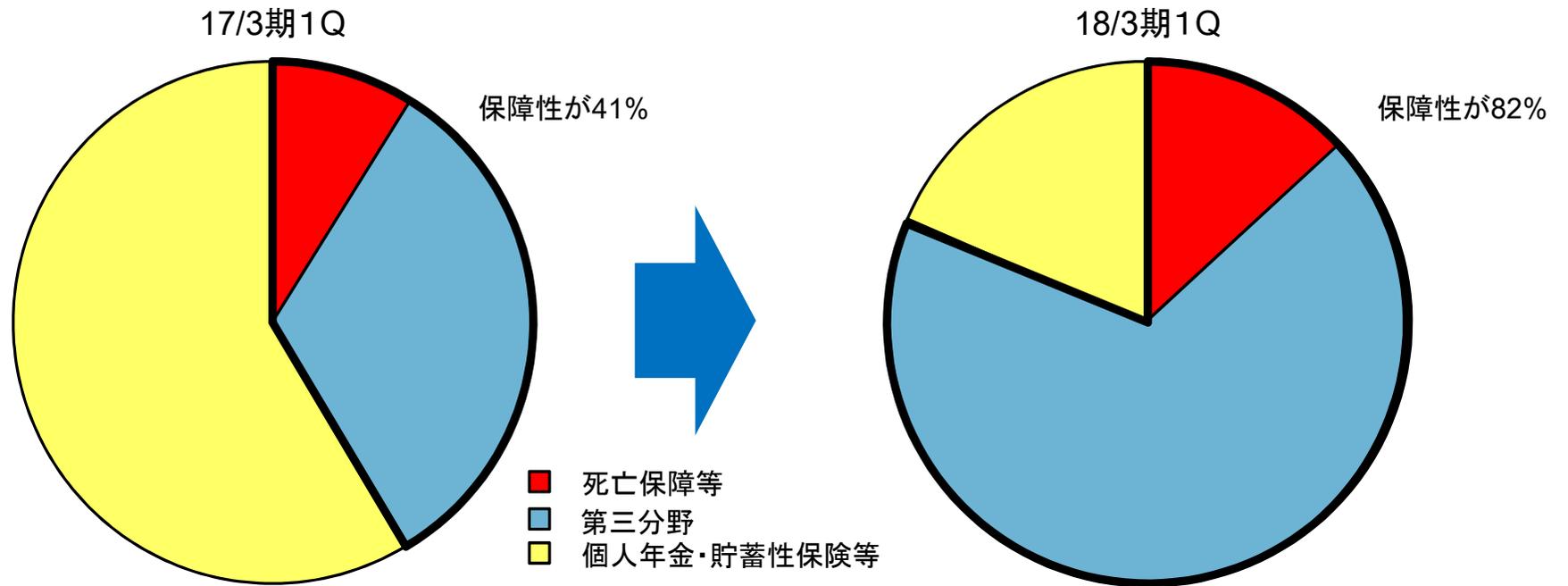
本日のアジェンダ

- 国内生命保険事業では、根強い貯蓄ニーズに応えつつ、販売ポートフォリオの保障性シフトを実現し、経済価値指標は改善へ。
- 海外生命保険事業は今期減益予想だが、前年度の一時的要因の反動であり、グループ事業戦略・事業環境に変化はない。
- 持株会社はキャッシュフローマネジメントを強化し、成長事業を資本面で支援、持続的な企業価値向上に向けガバナンスの強化が進む。

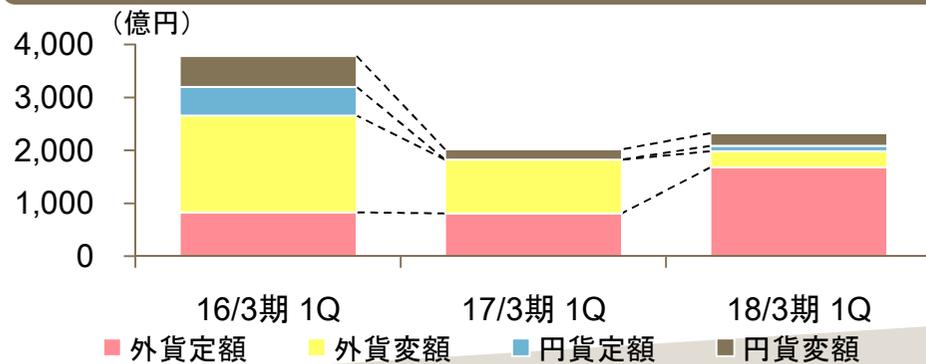


保障性シフト進む

第一生命の新契約年換算保険料の商品別構成



第一フロンティア生命の保険料収入の商品別構成





経済価値指標は改善へ

- 商品の保障性シフトにより国内生命保険事業における新契約価値は改善
- 資本充足率も小幅改善

17/3期

【第一生命】 (億円)

	16/3期	17/3期	増減
新契約価値	1,346	1,110	▲ 236
収入保険料現価	30,179	33,552	+ 3,372
新契約マージン	4.46%	3.31%	▲ 1.15 ポイント

【第一フロンティア生命】 (億円)

	16/3期	17/3期	増減
新契約価値	532	175	▲ 357
収入保険料現価	16,795	8,653	▲ 8,142
新契約マージン	3.17%	2.03%	▲ 1.14 ポイント

18/3期第1四半期 (概算値)

新契約価値 約340億円
新契約マージン 7%弱

新契約価値 約50億円
新契約マージン 約2%



InsTechの取組広がる



**健康
第一**

2017年3月～

健康増進キャンペーン
“健康第一”アプリスタート

10月～

健康増進サービス
“健康第一”アプリアップデート

さらなるレベルアップ

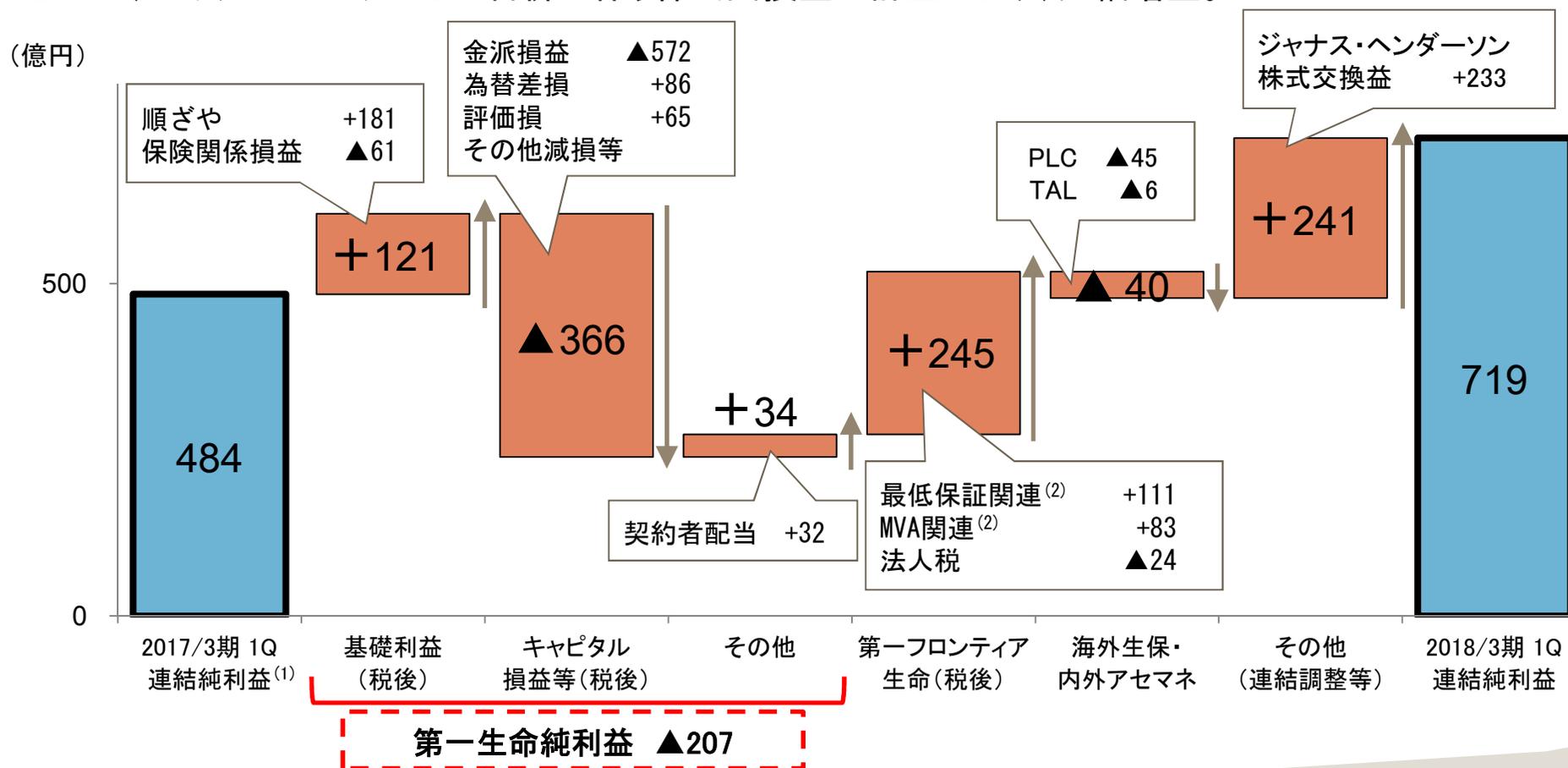
65万ダウンロード

- 社内外の医療ビッグデータの解析により生命保険の引受査定基準を改定、持病を持つ方でも生命保険に加入できる可能性広がる(5月:8,000件→現在:12,000件)



(再掲) 第一生命グループ業績 - 1Q連結主要業績

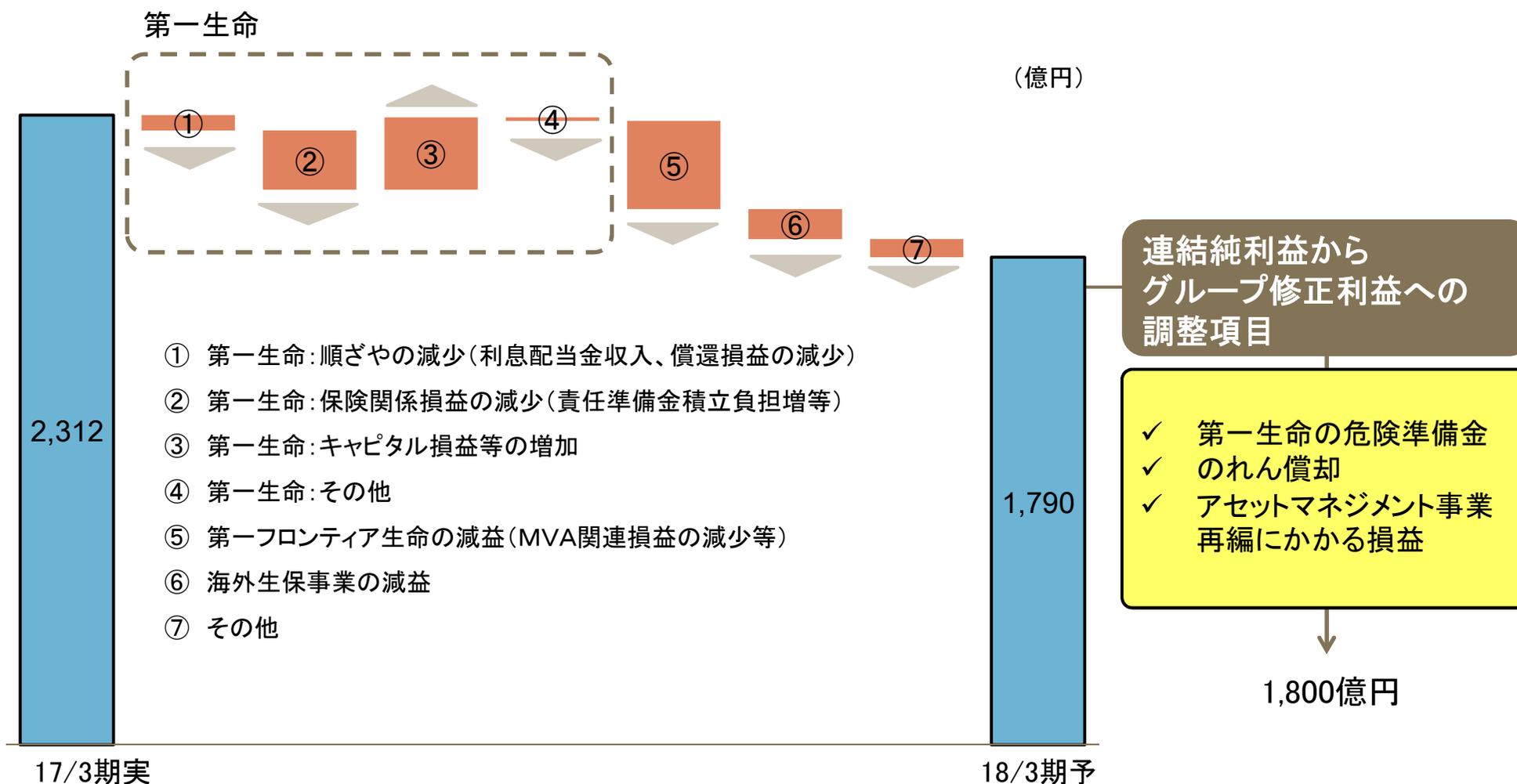
- 第一生命は、前年同期のヘッジに関わる資産運用益の剥落等により減益も、金融環境改善等による順ぎやの改善等により順調な進捗。第一フロンティア生命は最低保証関連損益・MVA関連損益が前年度より改善。
- 海外生保は前年同期の利益押上げ要因の剥落もあって減益だが、各社、想定を上回る進捗。
- 加えて、ジャナス・ヘンダーソン合併に伴う株式交換益の計上により、大幅増益。



(1) 連結純利益は、親会社株主に帰属する四半期純利益を記載しています。
 (2) 最低保証関連損益およびMVA関連損益については税引前の金額を記載しています。



(再掲) 連結純利益⁽¹⁾の増減要因分析(18/3期予想)



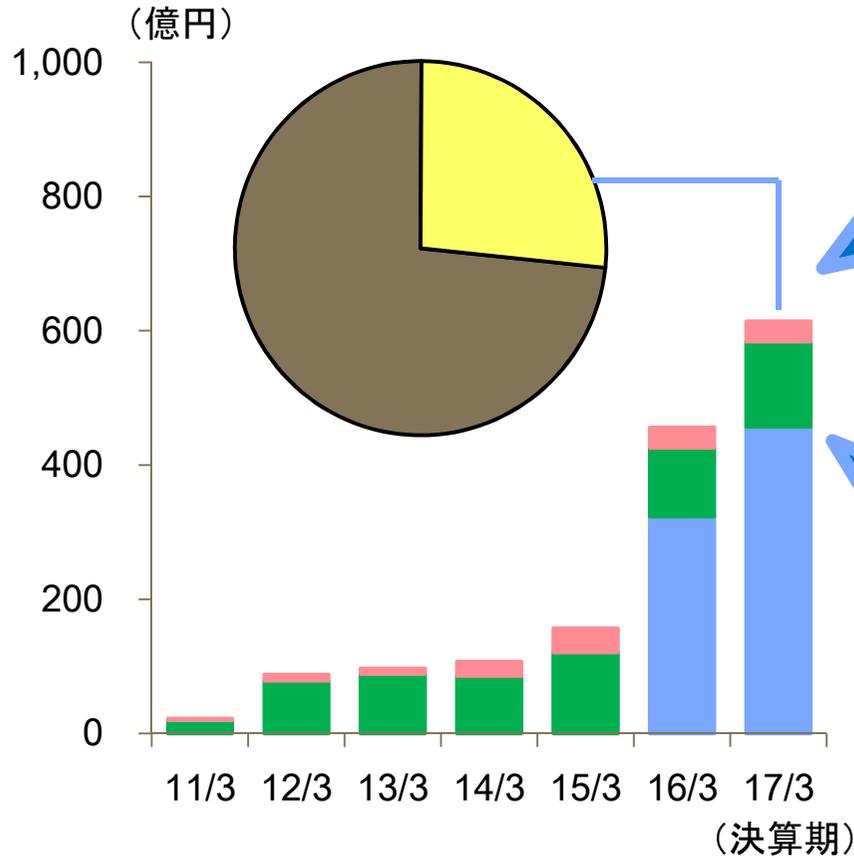
(1) 連結純利益は、親会社株主に帰属する当期純利益を記載しています。

(再掲)海外生命保険事業



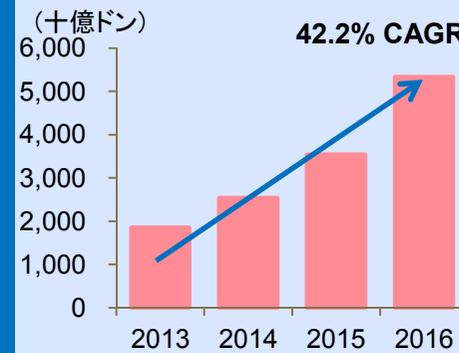
Dai-ichi Life Holdings

海外生保は
17年3月期連結純利益の27%

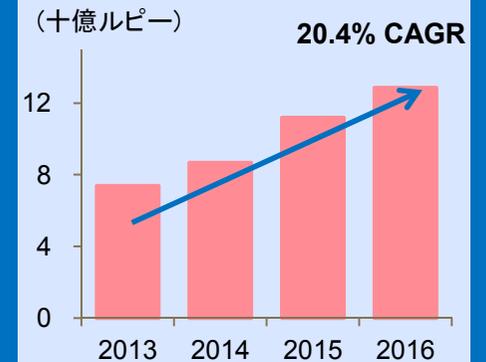


新興国市場の成長を取り込む

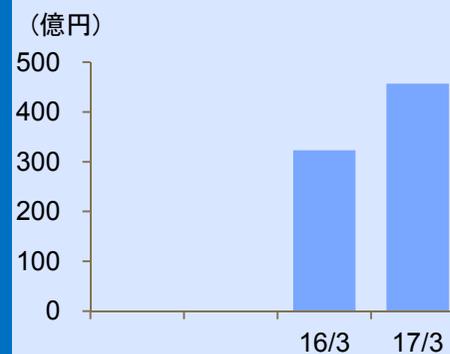
第一生命ベトナム
保険料等収入の推移



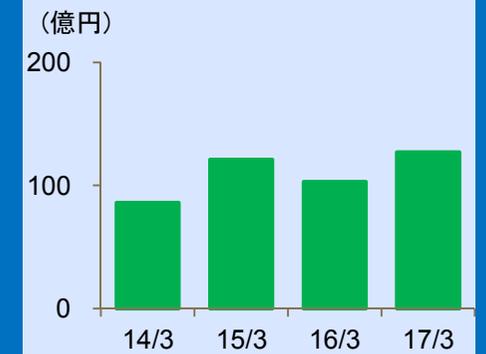
スター・ユニオン第一ライフ
換算収入保険料の推移



プロテクティブ修正利益の推移



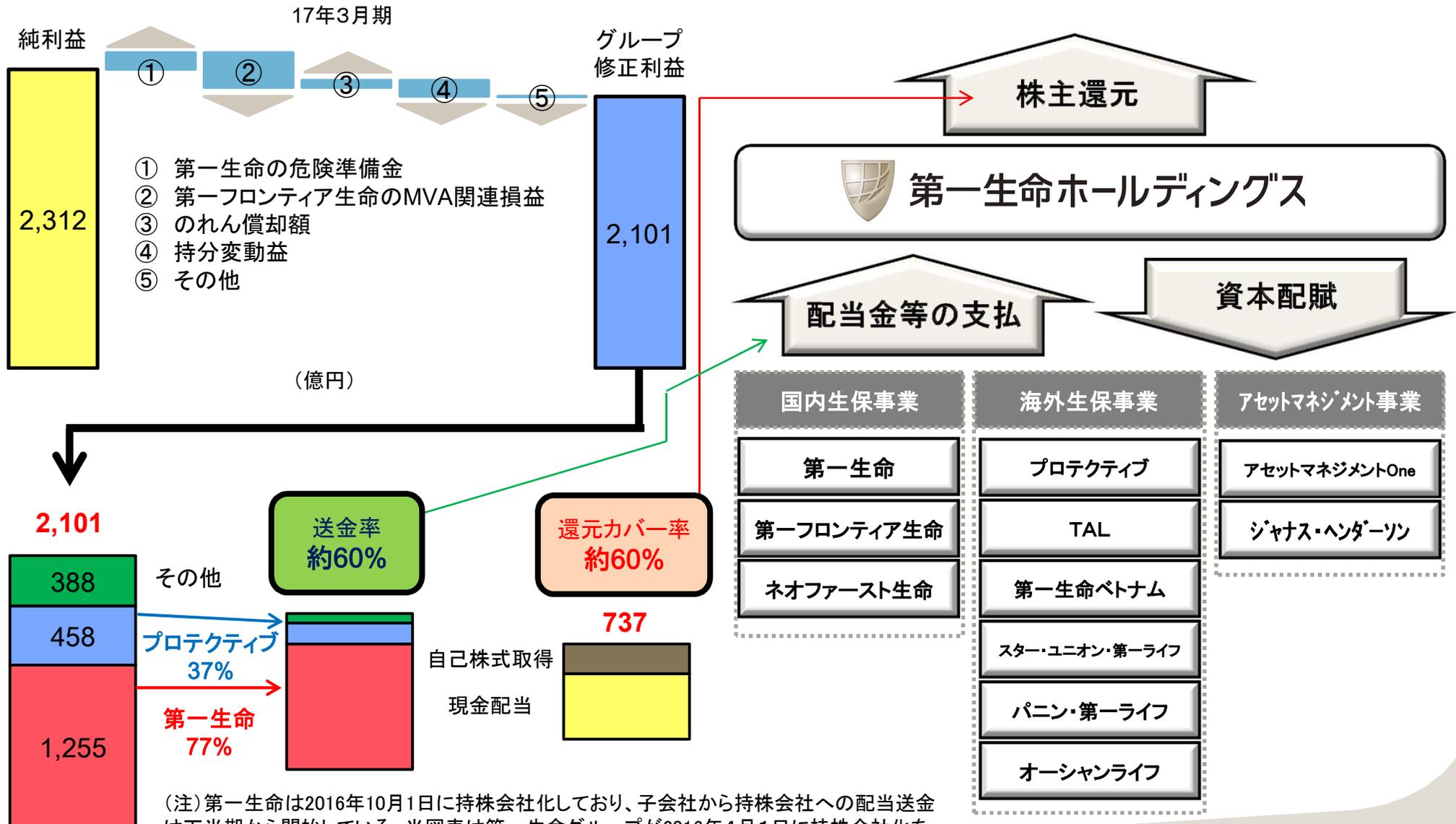
TAL修正利益の推移



先進国市場の安定した利益貢献



(再掲) キャッシュフロー・マネジメントを強化



(注) 第一生命は2016年10月1日に持株会社化しており、子会社から持株会社への配当送金は下半期から開始している。当図表は第一生命グループが2016年4月1日に持株会社化を完了したと仮定し、下半期の子会社の配当性向を通期の修正利益に適用した場合の持株会社への送金イメージを示している。



本資料の問い合わせ先

第一生命ホールディングス株式会社

経営企画ユニット IRグループ

電話:050-3780-6930

免責事項

本プレゼンテーション資料の作成にあたり、第一生命ホールディングス株式会社(以下「当社」という。)は当社が入手可能なあらゆる情報の正確性や完全性に依拠し、それを前提としていますが、その正確性または完全性について、当社は何ら表明または保証するものではありません。本プレゼンテーション資料に記載された情報は、事前に通知することなく変更されることがあります。本プレゼンテーション資料およびその記載内容について、当社の書面による事前の同意なしに、第三者が公開または利用することはできません。

将来の業績に関して本プレゼンテーション資料に記載された記述は、将来予想に関する記述です。将来予想に関する記述には、これに限りませんが「信じる」、「予期する」、「計画」、「戦略」、「期待する」、「予想する」、「予測する」または「可能性」や将来の事業活動、業績、出来事や状況を説明するその他類似した表現を含みます。将来予想に関する記述は、現在入手可能な情報をもとにした当社の経営陣の判断に基づいています。そのため、これらの将来に関する記述は、様々なリスクや不確定要素に左右され、実際の業績は将来に関する記述に明示または黙示された予想とは大幅に異なる場合があります。したがって、将来予想に関する記述に依拠することのないようご注意ください。新たな情報、将来の出来事やその他の発見に照らして、将来予想に関する記述を変更または訂正する一切の義務を当社は負いません。